



昭和記念公園の1枚

グループホーム・ケアホーム(GH・CH)は現在10ホ
ームあり、今年度中に11番
目のホームの開設を予定して
います。当初は今年春までシ
ョートステイ「クローバー」と
して使用していた物件を改修
して利用する予定でしたが、
諸般の事情により開設時期が
大幅に遅れる見通しになっ
てまいりました。

そのため別の物件を探さな
ければと思っていたところ運
よくある大家さんから「うち
をグループホームで借りてく
れないか」という申し出があ
り、早速見学をしました。大
きさ、間取りも大変良いもの
でした。4年前に一度、交渉
していたことを思い出して下
さったとのことでした。大変
ありがたいお話です。

今回は、男性用ホームで5
名の入居者を予定しています。
GH・CH事業部では杉並
区以外でも積極的にホームの
開設をめざしています。

当法人では住み慣れた地域
の中で障害者ご本人とそのご
家族がどうすれば安心して生
活していただけるかを誠心誠
意考え、積極的に地域支援と
向かい合っています。

年末年始、ゴールデンウイ
ーク、夏休みなど季節ごとに
イベントを企画しています。

8月13日には昭和記念公園で
パーベキュー大会を開催し、
入居者様、ボランティア、ス
タッフ合わせて40人以上でス
イカ割りなどをして楽しみま
した。また、年末には合同忘
年会、年始には初詣、お節づ
くりなどの企画があります。

いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では「いたるセンター」
の活動を支援していただける方を募集し
ています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会
設立の趣旨であります。

年会費 1口5千円(何口でも可)
郵便振り込み 00110712892
(例)339217346 事務局 山本まで

いたる通信 46 紅葉の秋号

ITARU CENTER

目次 contents

- 01 巻頭言
グループホーム・
ケアホーム事業部
いたる賛助会
- 02 阿佐谷福祉工房
あけほの作業所
クローバー
- 03 サポートウイズ
いたる相談室
目黒本町福祉工房
- 04 Puku Puku
さん まるしえ

**グループホーム・ケアホーム長
白滝 則男**

グループホーム新規開設に向けて

いたる賛助会について

5千円から始める、
地域福祉への貢献

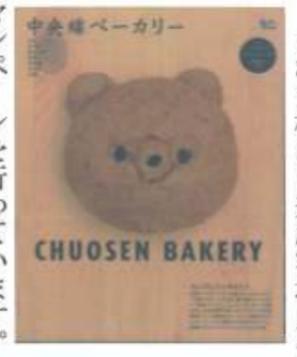
いたる賛助会にご参加ください！
いたる賛助会は、いたるセ
ンターの行う福祉活動を支援
するとともに、地域に密着し
た活動を中心に据え、広い視
野で地域に生活する障害者(こ
児)の福祉の向上を目的とし
て、平成11年に発足しました。
会員数は144名(今年3月
末現在)で、いたるセンター
の施設・サービスの利用者の
父兄が中心となっております。
集められた会費は、主にグル
ープホームの設立や運営をは
じめとする、いたる事業支援
費として地域福祉の向上に充
てられ、平成23年度の事業報
告では、「グループホーム増
設事業費」「法人本部屋舎建
て替え工事協賛事業費」とし
て、120万円を寄付しまし
た。

パン工房 PUKUPUKU

雑誌「中央線ベーカリー」で紹介されました！

る店作りを心がけています。

本 年8月1日にグラフィス社より発行されました雑誌「中央線ベーカリー」に菰窪の店舗としてPuku Pukuが紹介されました。天然酵母、国産小麦で作られたパンの紹介で、食パンを中心に沢山のパンが見開きで紹介されています。



これを機にご来店客増員キ

ヤンペーンを行っています。具体的には、毎週金曜日に近隣に500枚のチラシのポスティングを実施しています。内容は翌週一押しの商品の紹介です。

また、毎日時間ごとに焼きあがるパンの紹介・呼び込みを店前にて実施しています。

一方、月17回程行っている引き売りと保育室、児童相談所などへの定期的な外販を行い、拡販に努め、日々活気あ



杉並区役所での外販活動



まんまるぶどうぱん 85円



復活！かぼちゃのスイートサラダ 140円



おさつスイーツ 190円

Sun Marche (さんまるしえ)

ハロウィンを楽しむ

秋を迎える店舗では、喫茶の充実と各施設と共同企画のフェアを開催致します。喫茶では、目黒区内の施設清水実習所で製造されたブルーベリージャムをのせたヨーグルトと抹茶ドリンクを新たにメニューに登場させます。フェアは毎月各施設と共同で開催していますが、10月初旬からスタートする「ハロウィン」フェアを昨年同様開催いたします。

各施設には「ハロウィン仕様」の商品(キャンドル、シユシユ、焼き菓子等)を企画生産していただき店内で販売すると同時に、ハロウィンパンキンの塗り絵をご来店のお子様を描いていただき、店内展示する等のアトラクションも行ってフェアを盛り上げます。



ぬりえを店内に飾ります

いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL: 03-3392-7346
FAX: 03-3391-8039
Eメール: info@itarucenter.com
HP: http://www.itarucenter.com/
発行日/平成24年10月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。
いたる広報委員まで。



ヨーグルトブルーベリージャム 100円



手作りブルーベリージャム 1瓶(200グラム) 300円

阿佐谷福祉工房

就労継続B型事業部スタッフ

新屋舎の屋上で農園開始!

樋口 善明 (ひぐち よしあき)

奇 跡のりんこの木村秋則様に師事されている方からコーチングしていただきながら、土壌改良を行っています。無肥料無農薬栽培の自然農法で安全・安心の作物を提供していくことを視野に入れてスタッフの準備を進めています。

また今後は、「(仮称)阿佐谷農園クラブ」等の協力員を募集してその方達を中心に購入協力をしてもらえるような事業展開を考えています。土壌の改良や、屋上でご利用者が安全・安心して作業してもらえようようマニュアル作りなどに力を入れて本格実施できるように準備を進めています。都会で自然を感じる仕事が出来ると。ご利用者様にそんな



屋上菜園の様子

幸せを感じる事業を提供していきたいと思っています。

あけぼの作業所

就労継続B型事業部統括リーダー

「さんまのタイカレー?」

金澤 妙子 (かなざわ たえこ)



温めるだけ!

あの東日本大震災から、1年半が過ぎました。メディアの情報も一気に減り、風化しつつある中、実際現地はまだまだ手つかずのところも多く、本当の意味での復興までは、かなりの年月がかかりそうです。「何か、私もしたい」と、現地を六回訪れ、昨年五月初回の際、障害者施設の状態を確認する中で、社会福祉法人はらから福祉会の武田理事長との出会いがありました。その後、東北の自主生産品を販売する形での応援を行い、三陸の魚を使ったタイカレーは「できませんか」とのお話をいただきました。

今年五月に社会福祉法人はらから福祉会のくりえいと柴田に製造をお願いするコラボレーションの形で、念願の復元支援商品「さんまのタイカレー」ができました。あけぼののタイカレーに三陸のさんまとはらから福祉会の豆乳と油揚げを加えて和風のタイカレーに仕上がっています。是非広げてくださ



盛りつけの一例です



マルコ外観

杉 並区からの要望を受け、10月1日(月)より日帰りショートステイ「マルコ」を新たに始めることになりました。そこで、皆様に開所に関するお知らせをさせていただきます。場所は杉並区天沼1丁目15番地18号メゾン利々101号室。新屋舎に隣接したアパートです。



マルコ内観

またクローバーは、新屋舎で事業をスタートしてから半年近くが過ぎようとしています。

たくさんのご要望にお応えするため、受け入れ可能な床数も最大5床から最大8床になりました。現在は受け入れの定員にゆとりも出るような状況になっています。同性介助にできる為の職員体制も当初より充実しています。以前と比べるとご予約が取りやすくなっていますので、ご要望ある場合は遠慮なくお電話ください。お待ちしております。申し上げておきます。※ご利用にあたり、事前に再契約をお願いしております。平成24年4月以降の新屋舎での契約取り交わしがお済みでない方は、クローバーまでご連絡ください。

クローバー

クローバー所長

影山 仁美 (かげやま ひとみ)

マルコ再開!

サポートウイズ

障害者を支援、高齢者を介護

所長 八巻 利子 (やまき としこ)

これまでサポートウイズは、自立支援法においては住宅訪問介護/重度訪問介護/同行援護/地域生活支援(移動支援)を、介護保険法においては、訪問介護/予防訪問介護を主な事業として、地域福祉ニーズにお応えしてきました。



サポートウイズでは、より充実した事業体制により、障害者や高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援・介護を心がけ、ご家族や関連機関(区・包括支援センター・医療機関など)と連携しながら、今後もさらなる総合的な福祉サービスを提供していきます。サービスをご希望される方へヘルパーとして就労をお考えの方ご連絡お待ちしております。

目黒本町福祉工房

就労継続支援B型支援員

第一回本町まつり

森本 英一 (もりもと えいち)

多くの人が待ちに待った目黒本町福祉工房のお祭りが11月17日(土)に開催されます。・工房近隣の皆様に工房の活動を知っていただくとともに、日ごろの活動への協力に感謝の気持ちを伝えていく。・目黒区域で活動している方をボランティア、パフォーマー等として積極的に招き、地域に溢れたお祭りを目指す。この2つをコンセプトにして、地域に密着したお祭りにはしたいと思っています。

スクリーン印刷の体験等、作業体験の企画もあります。また、普段見ることのできない屋上菜園やテラスなども開放し、みなさんに見ていただきたいと思っています。利用者・ご家族のみならず、地域の皆様の力を貸していただき、賑やかなお祭りになりますので、ぜひ遊びに来てください。お待ちしております。なお、古本市場で販売する本をご提供いただける方はご連絡ください。03・3714・0514 (代表)

いたる相談室

定期的に作品展を開催

相談支援員 厚地 朋子 (あつち ともこ)

いたる相談室では地域の方向に向けて、相談室での活動を知っていただくために年2回「作品展」を開催しています。今年度の第1回目は、7月21日22日に開催しました。布絵本、カレンダー、刺繍、さをり織りなど、利用者の皆様がそれぞれのアイデアを生かして作った作品を展示しました。



作品制作の様子

【作品展】開催のお知らせ

日時：平成24年12月1日(土) 2日(日) 午前10時~午後3時 場所：いたる相談室

直接ご来室いただいた方にも楽しんでいただける参加型のイベントもご用意しています。お気軽にご参加くださいませ。

行い、手作りコーナーで、紙粘土を使った「お弁当づくり」や「写真立て作り」など作品コーナーを用意し、来所された方に楽しんでいただき



工房屋上菜園での収穫風景